

IP-SAN LAN ドライバー インストールガイド

目次

1. はじめに	3
1.1. 適用対象	3
1.2. 商標について	3
1.3. 外来語のカタカナ表記について	4
1.4. Windows OS のインストールについて	4
2. 作業の流れ	5
3. インストール方法	6
3.1. OS インストール時の LAN ドライバー読み込み手順	6
3.2. Starter Pack の適用手順	9
4. バージョン確認方法	10
5. iSCSI Dump の設定	11
6. チェック事項	12

1. はじめに

本インストールガイドでは、IP SAN ブート(iSCSI ブート)のシステムをセットアップする際に必要な LAN ドライバー、BACS(LAN ドライバーユーティリティ)のインストールおよび設定方法について説明します。

また、「6. チェック事項 (P.12)」に記載している重要/チェック事項を参照後、IP SAN ブートの構築を行ってください。

1.1. 適用対象

本インストールガイドの適用範囲は下記の通りです。

- **対象装置**
 - ・ Express5800/B120f
 - ・ Express5800/B120f-h
- **対象 LAN コントローラー**
 - ・ N8403-083 (本体標準装備のネットワークアダプター)
 - ・ N8403-051/085 (増設ボード)
- **対象 OS の製品名と省略形式**

本書の表記	Windows OSの名称
Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012 R2 Standard
	Windows Server 2012 R2 Datacenter
Windows Server 2012	Windows Server 2012 Standard
	Windows Server 2012 Datacenter
Windows Server 2008 R2	Windows Server 2008 R2 Standard
	Windows Server 2008 R2 Enterprise
Windows Server 2008	Windows Server 2008 Standard(32bit)
	Windows Server 2008 Enterprise(32bit)



チェック

IP SAN ブートを Windows Server 2012 R2 環境でご利用される場合は、下記の ID 番号以降の OS インストール媒体を使用してください。

Standard : 243-110442-925-X (X は “B” 以降)

Datacenter : 243-110442-926-X (X は “B” 以降)

(ID 番号は OS インストール媒体表面に記載されています。)

1.2. 商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Broadcom、NetXtreme、Ethernet@Wirespeed は、合衆国内とその他の各国の Qlogic Corporation および/または従属的な企業の商標です。StoragePathSavior は日本電気株式会社の商標または登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文では TM,R マークを明記していません。

1.3. 外来語のカタカナ表記について

本インストールガイドでは、外来語の長音表記に関して、国語審議会の報告を基に告示された内閣告示に原則準拠します。但し、OS やアプリケーションソフトウェアなどの記述では準拠していないことがあります。誤記ではありません。

1.4. Windows OS のインストールについて

以下は可能なインストール方法を示します。

- : Windows 標準のインストーラーでのセットアップのみサポート
— : 未サポート

装置	LAN ボード	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012	Windows Server 2008 R2	Windows Server 2008
Express5800/ B120f,B120f-h	N8403-051	○	○	○	—
	N8403-083	○	○	○	○
	N8403-085	○	○	○	○

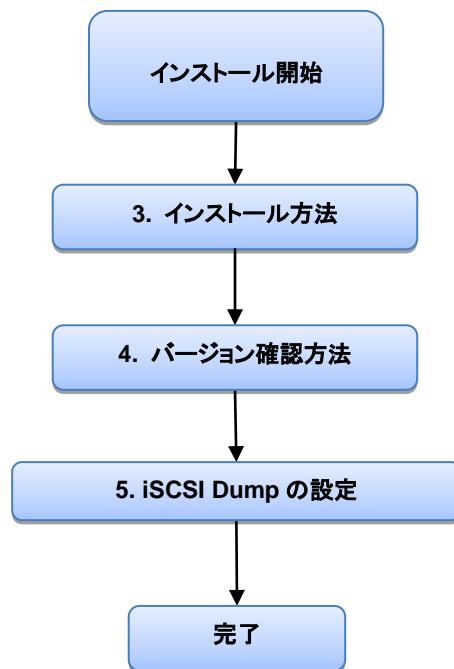


チェック

N8403-051 を使用して IP SAN ブート(iSCSI ブート)のシステムをインストールする場合
論理ポート番号 0(PF0)を使用してインストールしてください。
論理ポート番号 0(PF0)以外のポートを使用してのインストールはサポートしていません。

2. 作業の流れ

本章では、IP SAN ブート(iSCSI ブート)のシステムをセットアップする際の作業の流れについて説明します。
以下の図を参照し、IP SAN ブートのシステムを構築してください。



3. インストール方法

本章では、IP SAN ブート(iSCSI ブート)のシステムセットアップ時の LAN ドライバーの読み込み方法と OS インストール後に行う Starter Pack の適用について説明します。

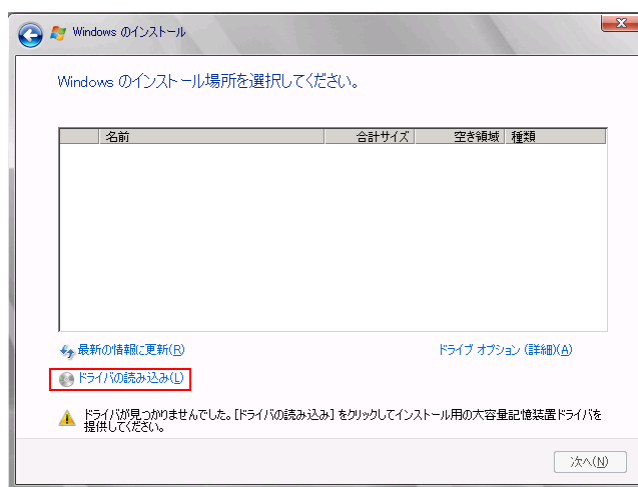
3.1. OS インストール時の LAN ドライバー読み込み手順

以下の手順を参照し、LAN ドライバーの読み込みを行って、OS インストールを実行してください。



N8403-085 を Windows Server 2012 R2 環境でご利用の場合、LAN ドライバーの読み込み前にターゲットディスクが認識されるので、本手順は不要です。
引き続き、OS をインストールしてください。

1. OS インストール画面で「ドライバーの読み込み」をクリックします。



2. 「参照」ボタンをクリックします。
3. 光ディスクドライブから「OS インストールメディア」を取り出し、装置に添付されている「EXPRESSBUILDER」をセットします。
4. 装置に添付されている「EXPRESSBUILDER」を光ディスクドライブにセットします。
(D ドライブを光ディスクドライブとします。)

Express5800/B120f の場合

Windows OS	選択するフォルダ
Windows Server 2012 R2	D:\¥003¥win¥winnt¥ws2012r2¥lan¥bcom¥ws2012_r2¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_64¥evbd
Windows Server 2012	D:\¥003¥win¥winnt¥ws2012¥lan¥bcom¥ws2012x64¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_64¥evbd
Windows Server 2008 R2	D:\¥003¥win¥winnt¥ws2008r2¥lan¥bcom¥ws2008_r2¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_64¥evbd
Windows Server 2008	D:\¥003¥win¥winnt¥ws2008¥lan¥bcom¥ws2008x86¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_32¥evbd

Express5800/B120f-h の場合

Windows OS	選択するフォルダ
Windows Server 2012 R2	D:\¥004¥win¥winnt¥ws2012r2¥lan¥bcom¥ws2012_r2¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_64¥evbd
Windows Server 2012	D:\¥004¥win¥winnt¥ws2012¥lan¥bcom¥ws2012x64¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_64¥evbd
Windows Server 2008 R2	D:\¥004¥win¥winnt¥ws2008r2¥lan¥bcom¥ws2008_r2¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_64¥evbd
Windows Server 2008	D:\¥004¥win¥winnt¥ws2008¥lan¥bcom¥ws2008x86¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_32¥evbd

5. 下記デバイスを選択し「次へ」をクリックします。

LANボード	デバイスの名称
N8403-051	Broadcom BCM57840 NetXtreme II Ethernet Multi Function
N8403-083/085	Broadcom BCM57810 NetXtreme II 10 GigE Multi Function



以下の場合、手順 8 へ進んでください。

- ✓ N8403-051 の環境で Windows Server 2012 R2 をインストールする場合。
- ✓ N8403-083/085 の環境で Windows Server 2012 または Windows Server 2012 R2 をインストールする場合。

6. 再度手順 1～2 を実施し、「EXPRESSBUILDER」内の下記フォルダを選択して[OK]をクリックします。
(D ドライブを光ディスクドライブとします。)

Express5800/B120f の場合

Windows OS	選択するフォルダ
Windows Server 2012	D:\¥003¥win¥winnt¥ws2012¥lan¥bcom¥ws2012x64¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_64¥ois
Windows Server 2008 R2	D:\¥003¥win¥winnt¥ws2008r2¥lan¥bcom¥ws2008_r2¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_64¥ois
Windows Server 2008	D:\¥003¥win¥winnt¥ws2008¥lan¥bcom¥ws2008x86¥lan¥bcom¥drvinst¥07100401¥windows_32¥ois

Express5800/B120f-h の場合

Windows OS	選択するフォルダ
Windows Server 2012	D:\004\win\winnt\ws2012\lan\bcom\ws2012x64\lan\bcom\drvinst\07100401\windows_64\ois
Windows Server 2008 R2	D:\004\win\winnt\ws2008r2\lan\bcom\ws2008_r2\lan\bcom\drvinst\07100401\windows_64\ois
Windows Server 2008	D:\004\win\winnt\ws2008\lan\bcom\ws2008x86\lan\bcom\drvinst\07100401\windows_32\ois

7. 下記デバイスが表示されますので、デバイスを選択し「次へ」をクリックします。

LANボード	デバイスの名称
N8403-051	Broadcom BCM57840 NetXtreme II iSCSI Adapter
N8403-083/085	Broadcom BCM57810 NetXtreme II 10 GigE iSCSI Adapter

8. ターゲットディスクを認識していることを確認します。
ターゲットディスクが表示されない場合、「最新の状態に更新」をクリックしてください。



9. 光ディスクドライブから「EXPRESSBUILDER」を取り出し、「OS インストールメディア」をセットします。

引き続き、OS をインストールしてください。

3.2. Starter Pack の適用手順

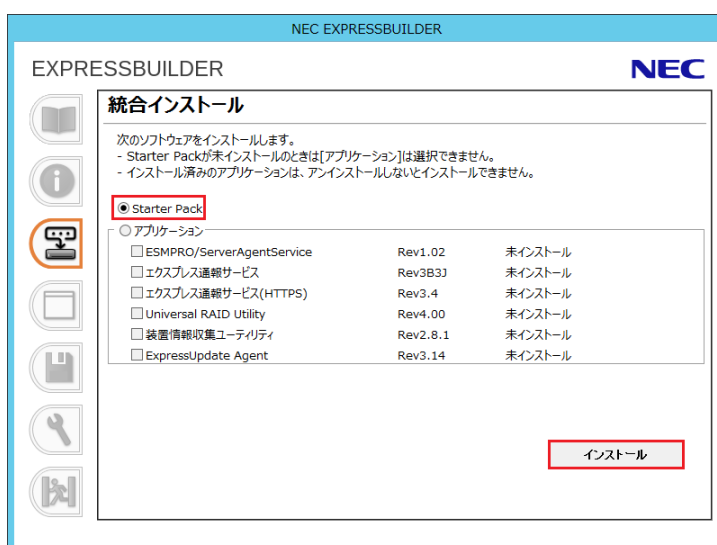
OS のインストール後は以下の手順を参照し、Starter Pack の適用を行ってください。



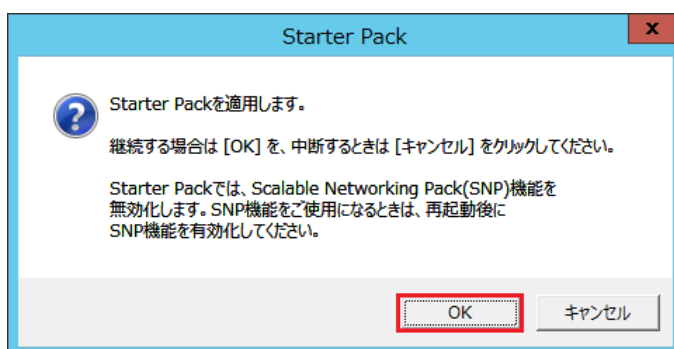
Starter Pack の適用については、必ず本体装置に接続されたコンソールから管理者権限のアカウントでログオンまたはサインインして実施してください。

OS のリモートデスクトップ機能によるリモートからの設定変更及び操作はサポートしていません。

1. 光ディスクドライブに装置に添付されている「EXPRESSBUILDER」をセットします。
2. メニューから「統合インストール」をクリックします。
3. 次の画面で「Starter Pack」が選択されていることを確認し、「インストール」をクリックします。



4. メッセージの内容を確認し、「OK」をクリックします。



5. Starter Pack の適用が完了したメッセージが表示されます。
光ディスクドライブから「EXPRESSBUILDER」を取り出します。
6. 「OK」をクリックし、システムを再起動します。

以上で、Starter Pack の適用は完了です。

4. バージョン確認方法

本章では、IP SAN ブート(iSCSI ブート)のシステム環境時の LAN ドライバー及び BACS のバージョンの確認方法について説明します。

以下の手順を参照し、バージョンを確認してください。



LAN ドライバー及び BACS に関する操作は、必ず本体装置に接続されたコンソールから管理者権限のアカウントでログオンまたはサインインして実施してください。
OS のリモートデスクトップ機能によるリモートからの設定変更及び操作はサポートしていません。

1. 「コントロールパネル」を開き、アイコン表示に切り替えます。
2. 「管理ツール」から、「コンピューターの管理」を起動します。
3. 「デバイスマネージャー」を選択し、「システムデバイス」、「ネットワークアダプター」、「記憶域コントローラー」を展開し、各配下の「Broadcom BCM57810 xxx」をダブルクリックし、プロパティを表示します。
4. 「ドライバー」タブを選択し、以下のバージョンであることを確認します。

デバイスの種類	LAN ボード (デバイスの名称)	バージョン
システムデバイス	N8403-051 (Broadcom BCM57840 xxx)	“7.10.8.0”
	N8403-083/085 (Broadcom BCM57810 xxx)	
ネットワークアダプター	N8403-051 (Broadcom BCM57840 xxx)	“7.10.6.0”
	N8403-083/085 (Broadcom BCM57810 xxx)	
記憶域コントローラー	N8403-051 (Broadcom BCM57840 xxx)	“7.10.0.0”
	N8403-083/085 (Broadcom BCM57810 xxx)	

5. 「コントロールパネル」を開き、「Broadcom Control Suite 4」をダブルクリックします。
Broadcom Advanced Control Suite 4 が起動します。
6. 「Help」から「About」を起動し、BACS が “16.6.0.0” のバージョンであることを確認します。

以上で、バージョンの確認は完了です。

5. iSCSI Dump の設定

本章では、iSCSI Dump ドライバーの設定方法について説明します。
以下の手順を参照し、iSCSI Dump ドライバーの設定を行って下さい。



- Express5800/B120f-h をご利用の場合、本手順は不要です。
- 本手順は必ず、Starter Pack の適用後に実施してください。
- LAN ドライバー及び BACS に関する操作は、必ず本体装置に接続されたコンソールから管理者権限のアカウントでログオンまたはサインインして実施してください。OS のリモートデスクトップ機能によるリモートからの設定変更及び操作はサポートしていません。

1. 光ディスクドライブに装置に添付されている「EXPRESSBUILDER」をセットします。
2. コマンドプロンプトを起動し、下記コマンドを実行します。
(D ドライブを光ディスクドライブとします。)

Windows OS	コマンド
Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2	cd /d D:\003\win\iscsi_dump\windows_64
Windows Server 2008	cd /d D:\003\win\iscsi_dump\windows_32

3. 手順 2 の状態で、「EXPRESSBUILDER」内の下記ツールを実行します。

Windows OS	コマンド
Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2	iscsi_dump_x64.bat
Windows Server 2008	iscsi_dump_x86.bat

4. “Update Complete.”のメッセージが表示されます。
光ディスクドライブから「EXPRESSBUILDER」を取り出します。
5. システムを再起動します。

以上で、iSCSI Dump ドライバーの設定は完了です。

6. チェック事項

本章では、IP SAN ブート(iSCSI ブート)のシステムをセットアップに関するチェック事項を記載します。



- ✓ IP SAN ブート環境で、ブートバスをマルチバス構成にする場合は、StoragePathSavior(SPS)または MPIO(マルチバス I/O)をインストールし設定を行ってください。
マルチバス構成の対象コントローラーは以下になります。

N8403-083/085 : Broadcom BCM57810 NetXtreme II 10 GigE iSCSI Adapter
N8403-051 : Broadcom BCM57840 NetXtreme II iSCSI Adapter
- ✓ BACS または LBFO によるネットワークアダプターのチーミング設定手順は装置に添付されている「インストールガイド(Windows 編)」を参照してください。
チーミングの対象コントローラーは以下になります。

N8403-083/085 : Broadcom BCM57810 NetXtreme II 10 GigE (NDIS VBD Client)
N8403-051 : Broadcom BCM57840 NetXtreme II Ethernet (NDIS VBD Client)